

H25年度7月末 全校集会挨拶

H25.7.19 橋本

1年生が入学し、2, 3年生が進級した4月から早いもので、約4か月が経ちました。そして、第2ステージ「活気あふれる学習と部活のステージ」が本日で終わります。

このステージは、みなさんにとってどのようなステージだったでしょうか。自分を振り返って、良かったこと・改善したいということがいくつかあったことだと思います。

本年度の学校教育目標は「学び合い やり抜く 栄中生」です。友達と仲良く学びあって、物事をこつこつやり抜いているみなさんの姿がたくさん見られました。その中で、特にいいなあと思ったことを3つお話しします。

まず1つ目です。それは

「学校が落ち着いていて、みんなが仲良く生活できること」です。
中学校時代は、とかく人間関係で悩むことが多いものです。だから、小さいさかいはあったかもしれません。しかし、「仲の良さを保つ」ことができるみなさんの優しさは、大変大切なものです。そして、みんなが気持ちよく学び合うには、落ち着いた生活、仲の良い集団は大きな基礎になっています。また、学年を超えて仲良くできることも、他の学校にはない栄中生の良さだと思います。

2つ目は

「あいさつや掃除など当たり前のことが当たり前にできる」ということです。「凡事徹底」という言葉があります。平凡なことを徹底して行うということです。あいさつはコミュニケーションの第一歩と言われますが、どこでも、だれでも良いあいさつができる、これは栄中の伝統です。

また、昨年に引き続き、掃除が静かにできています。工事の業者さんが、ある時、みんなが掃除前に黙って整列をして、開始を待っている様子を見て褒めて下さいました。「ああいうけじめのある姿って中学生にとっていいですね。」と。放送委員の人の指示をもとに学校全体がしんと静かに掃除に取り組める、他の学校では、なかなかまねのできない栄中生の自慢です。これは絶対に崩してはいけませんね。

3つ目は

「行事や部活動等などに協力して一生懸命努力できしたこと」です。

体育大会では3年生を中心として赤青の集団が良くまとまり、感動的ないいくつかも場面を見せてもらいました。今年の体育祭は何年かぶりに青組が優勝しました。優勝した青組はもちろん、わずかの差で負けてしまった赤組も本当に精一杯にがんばりました。

また、先日行われた中体連の夏の大会では、3年生の今までの努力が様々な場面で成果となって表っていました。最後の最後まで決して諦めないで相手に向かっていく一生懸命な姿・厳しい場面でも相手を責めずに励ます姿はとても印象的でした。負けた時の悔しさがまだ残っている人もいると思いますが、「戦いでは負けから学ぶことが多くある」とよく言われます。あの悔しさは一生忘れないと思います。でも、悔しさが深ければ深いほど、これからのがんばれる大きなエネルギーになります。3年生は、ぜひこれから的生活の苦しい場面を乗り切る力にしてほしいと思います。

3年生感動をありがとうございました。そして本当にお疲れ様でした。

これから陸上部が小笠地区大会へ出場します。水泳では松浦可苗さんが県大会やジュニアオリンピックの大会へ出場します。活躍を期待しています。

総合文化部のみなさんも暑い中、自分の活動に良く集中して頑張ってくれていました。体育大会の時の看板作りなど素晴らしい活動でした。ありがとうございました。

ここで、先生方に一言お礼を言いたいと思います。朝早くから夜遅くまで、土曜日も日曜日も、みんなのために一生懸命働いてくれました。時には、自分のこと、家族のことを犠牲にして、みんなが気持ちよく生活できるように様々な場面で気を配って下さいました。みなさんとともに感謝したいと思います。先生方、ありがとうございました。

さて、いよいよ明日から待ちに待った夏休みです。今年の夏休みは耐震工事の関係でいつもより長い41日間です。

どんなときも何より一番大切なものの・それは「命」です。交通事故に気をつける、夜遊びをしない、たばこやお酒に手を出さない、友達の家に泊まらない、あたりまえのことをしっかり守って事故のないようにしてください。水の事故、熱中症にも注意が必要です。ぜひ、自分の命を自分で守ってほしいと思います。

それでは、8月30日に全員、心身ともに元気で登校できることを祈っています。